

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から

新聞報道や帯広市のホームページ等で本年度実施された全国学力・学習状況調査の北海道と帯広市の結果が公表されました

北海道の状況については、全ての教科で全国平均に達していないものの、全国の平均正答率との差が小学校国語A・B、小学校算数A・Bで縮まるとともに、正答率の少ない児童の割合が減少するなど改善の傾向が見られました。

本校の状況ですが、全ての教科で全国平均正答率に達していないものの、本校の課題となっている算数Aでは、着実に差を縮めつつあります。

◎問題ごとにおける全国・北海道と本校の平均正答率の比較と分析

(全国平均と比較・道平均と比較)

- ☆・・・正答率が全国平均より高かった問題
- ★・・・正答率が全国平均より10%以上低かった問題
- ・・・正答率が道平均より高かった問題
- ・・・正答率が全国平均より10%以上低かった問題



1 国語A (主として「知識」に関する問題)

- 1 【話すこと・聞くこと】
学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する。(★・○)
- 2 【書くこと】
 - 一 お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する。(☆・○)
 - 二 手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する。(・・)
- 3 【読むこと】
学校新聞を書くために、「時の記念日」についての資料から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する。(・・)
- 4 【読むこと】【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
 - 一 俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する。(★・●)
 - 二 グループの話し合いを通して見つけた俳句のよさとして適切なものを選択する。(★・●)
- 5 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
 - ア ことわざの使い方の例として適切なものを選択(三度目の正直) (★・●)
 - イ ことわざの使い方の例として適切なものを選択(もちほもち屋) (★・●)
- 6 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
歌舞伎の作品「外郎売(ういろうり)」の一部を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する。(・・)
- 7 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
漢字を書く・読む

(1) <u>参加</u> たいしょう (★・●)	(2) 4年生の <u>きぼう</u> 者 (★・○)	(3) 申しこみ <u>期限</u> (・・)
(4) <u>事務</u> 室前 (・・)	(5) 箱が <u>お</u> いてあります (☆・○)	(6) <u>指</u> 示 (・・)

言語についての知識・理解・技能のうち、漢字の読み・書きに着目すると、全道・全国平均を上回った問題もあり、全体的に全国平均に近づいています。宿題や家庭学習への取組や、日常のきめ細かい指導の効果が表れてきているといえます。

2 国語B (主として「活用」に関する問題)

① 【話すこと・聞くこと】

1. スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する。(・)
2. グループの話合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことによさについてどのように考えているかについて書く。
 - ①【グループの話合いの様子】の言葉を使って書くこと。
 - ② 40字以内で書くこと。(・)
3. 折り紙の魅力について、スピーチメモとグループの話合いで出された意見を基に書く。
 - ①【スピーチメモ】と【グループの話合いの様子】で出された意見からそれぞれ取り上げて書くこと。
 - ②スピーチとしてふさわしい言葉づかいにすること。
 - ③書き出しの言葉に続けて、80字以上100字以内にまとめて書くこと。(・)

② 【書くこと】

- 1.【緑のカーテン作りへの協力をお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する。(・)
- 2.【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用するのに最も効果的な文章を、『『緑のカーテンを始めよう』の一部』から選択する。(☆・○)
- 3.「水やりに協力してくれる人を募集します」の文章に入る内容を、中学生からの【アドバイス】をもとにして書く。
 - ①水やりが大変な理由を【アドバイス】から2つ取り上げて書くこと。
 - ②【緑のカーテンづくりへの協力をお願い】にふさわしい表現で書くこと。
 - ③書き出しの言葉に続けて、30字以上60字以内にまとめて書くこと。(☆・○)

③ 【読むこと】【書くこと】

- 1.「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、**A**に当てはまる言葉として適切なものを選択する。(・)
- 2.「きつねの写真」を読んだ後の話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する。(完答)(・)
- 3.「きつねの写真」から取り上げた言葉や文をもとに、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く。
 - ① の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - ② 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
 - ③ 60字以上100字以内にまとめて書くこと。(★・●)

【書くこと】の問題では正答率が低かったものの、全道・全国平均を上回った設問もあり、チャレンジテスト等を通して、教科書にはない文章を読んで答えたり、指定された条件に合わせて答えたりすることに少しずつ慣れてきているといえます。今後も引き続き、自分の考えを整理し、表現する活動を国語に限らず各教科・領域で行っていきます。

3 算数A (主として「知識」に関する問題)

- ① 計算の能力 (計算の意味と計算の仕方の理解)
- (1) 【第3学年】A 数と計算 【第5学年】D 数量関係
リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く。(完答) (. .)
- (2) 【第5学年】A 数と計算
買ったリボンの長さ、1m当たりのリボンの値段と代金が、それぞれ数直線上のどこに
当てはまるかを選ぶ。(完答) (★・●)
- (3) 【第5学年】A 数と計算
60×0.4を、60×4を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ。(★・●)
- ② 四則計算
- (1) 【第3学年】A 数と計算 123×52 (★・)
- (2) 【第4学年】A 数と計算 $10.3 + 4$ (★・●)
- (3) 【第4学年】A 数と計算 D 数量関係 $6 + 0.5 \times 2$ (. .)
- (4) 【第5学年】A 数と計算 $5 \div 9$ の商を分数で表す (★・●)
- ③ 最小公倍数 【第5学年】A 数と計算
8と12の最小公倍数を求める (. .)
- ④ 量の比較や測定 【第1学年】【第3学年】B 量と測定
重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ。(完答) (☆・○)
- ⑤ 高さが等しい図形の面積 【第5学年】B 量と測定
示された平行四辺形の面積の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ。 (. .)
- ⑥ 正多角形の性質 【第5学年】C 図形
円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く。
(☆・○)
- ⑦ 立方体の面と面の位置関係 【第4学年】C 図形
立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ。 (. .)
- ⑧ □を使った式 【第3学年】D 数量関係
はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ。 (. .)
- ⑨ 資料の分類整理 【第4学年】D 数量関係
- (1) 出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ。 (. .)
- (2) 二次元表の合計欄に入る数を書く。 (. .)

四則計算では、一昨年度・昨年度同様に小数の加法（一昨年度は減法）で全道・全国平均を下回りました。位をそろえて計算することを忘れないように、けいさんタイムやチャレンジテスト等を活用して引き続き反復学習を行っていきます。

4 算数B (主として「活用」に関する問題)

- 1 数量の関係の考察と一般化 (数字カード)
- (1) 【第2学年】A 数と計算
カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く。 (★・●)
- (2) 【第2学年】A 数と計算
示された考えを基に、 $54-45$ の場合で残る部分を図に表す。 (★・●)
- (3) 【第4学年】D 数量関係 【第5学年】A 数と計算 D 数量関係
2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く。 (★・●)
条件「カードの差」「2けたのひき算の答え」の2つの言葉をつかうこと。
- 2 情報の選択と数学的な表現及び方法の解釈とその適用 (手紙)
- (1) 【第2学年】A 数と計算 【第3学年】A 数と計算 D 数量関係
小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く。(完答) (・)
- (2) 【第3学年】A 数と計算 【第5学年】A 数と計算
13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く。(完答) (・○)
- 3 実験結果の数学的な処理と解釈・表現 (ゴムの力で動く車)
- (1) 【第4学年】D 数量関係 【第5学年】B 量と測定
飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ。 (★・)
- (2) 【第4学年】D 数量関係 【第5学年】B 量と測定
仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。 (★・)
- 4 目的に応じた資料の整理と表現 (ハンカチ・ティッシュペーパー調べ)
- (1) 【第4学年】D 数量関係
示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ。 (★・●)
- (2) 【第3学年】D 数量関係 【第5学年】D 数量関係
学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ。 (・)
- 5 日常生活の事象の数学的な解釈と判断の根拠の説明 (見かけの月の大きさ)
- (1) 【第5学年】D 数量関係
「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ。 (★・●)
- (2) 【第3学年】C 図形 【第5学年】D 数量関係
与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く。(完答) (・)

答えに至るまでの過程を説明するだけでなく、ノートに記述したり、図や表、式、言葉(算数の用語)を結びつけたりしながら学習の理解を深め、定着を図ることを大切にしたい指導の工夫を行っていきます。

今後も問題文・資料等のたくさんの情報の中から問題の意図を読み取る力をつけることを大切にしていきます。

5 児童質問紙より（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）＊一部抜粋

- ・朝食を毎日食べている

全国 87.0% 全道 84.4% 本校 80.4%

- ・平日の1日当たりのテレビ・ビデオ・DVD時間が4時間以上

全国 16.6% 全道 18.8% 本校 **41.1%**

- ・平日の1日当たりのゲーム時間が4時間以上

全国 9.3% 全道 12.5% 本校 **32.1%**

- ・テレビやゲームの時間などのルールを家の人と決めている

全国 35.3% 全道 32.5% 本校 **21.4%**



依然としてテレビやゲームに費やす時間が全国・全道に比べて多くなっています。今後も生活リズムチェックシート等を活用し、各自の生活時間について見直す機会を持つことが大切です。

- ・平日の1日当たりの携帯・スマートフォン使用時間が4時間以上

全国 3.8% 全道 5.3% 本校 **21.4%**

6年生児童の7割以上が携帯電話やスマートフォンを使用していると答えています。また、4割以上が1日当たり1時間以上使用している状況です。家庭の中でのルールをしっかりと決めて使用していくことが大切です。

- ・平日の1日当たりの読書時間が1時間以上

全国 16.8% 全道 17.0% 本校 **19.6%**

- ・平日の1日当たりの放課後の学習時間が1時間以上

全国 64.4% 全道 57.1% 本校 **39.3%**



啓西小学校では「家庭学習のすすめ」の中で、「高学年 60分以上」「中学年 60分」「低学年 30分」を目安として設定しています。遊びの時間と学習の時間をしっかりと区別すること、特に高学年では子どもが学習時間を考え、終わりまで集中して取り組むことが大切です。今後も家庭学習の手引き等を活用していきます。

- 新聞をほぼ毎日読んでいる

全国 7.8% 全道 8.1% 本校 7.1%

- テレビやインターネットのニュースをよく見る

全国 54.5% 全道 54.6% 本校 **66.1%**



新聞をほとんど読まないという児童が9割を超えていますが、テレビやインターネットのニュースを見る児童が多くなっています。ここからも、児童のスマートフォンやインターネットの使用率の高さがうかがえます。

- 国語の勉強は好きだ

全国 25.5% 全道 26.7% 本校 26.8%

- 算数の勉強は好きだ

全国 38.5% 全道 37.8% 本校 35.7%

- 算数の勉強は大切だ

全国 72.9% 全道 72.3% 本校 69.6%

- 算数の授業の内容はよく分かる

全国 39.3% 全道 44.8% 本校 **47.6%**

「算数の授業の内容はよくわかる」と答えた児童の割合が全国を大きく上回っており、日頃の授業改善が学習内容の理解へとつながっています。



◆改善に結びついた取組・これからも継続したい取組について

【1】 調査問題の活用

調査問題の解きなおしを行っています。また、年に数回の「ほっかいどうチャレンジテスト」でも、調査問題の過去問題・類似問題が出題されています。どの学年でも、単元テストとは違う形式の問題に取り組み、さまざまな出題形式に慣れていくことが有効です。授業の中で考えたり、サポート問題に取り組んだりするなど、調査問題を活用しています。

【2】 けいさんタイム

本校では、火曜日の朝に「けいさんタイム」を設定し、全職員で「子どもにつく指導」を行っています。平成 29 年度の調査問題にも該当学年だけではなく、3 年生や 4 年生で学習した内容が多く出題されていました。「けいさんタイム」等の時間を活用して前学年の問題を行うことにより、過去の学習内容を想起することができます。既習事項を思い出すことが現学年の内容理解にも有効です。

【3】 授業改善

「算数の授業がよくわかる」と答えた児童の割合が多くを占めていることから、「わかる」算数の授業を目指した日々の授業改善が子どもの学力と結びついたことがわかります。今後も校内研究を通して、より一層「わかる」「できる」算数授業を目指していきます。

【4】 生活リズムチェックシート

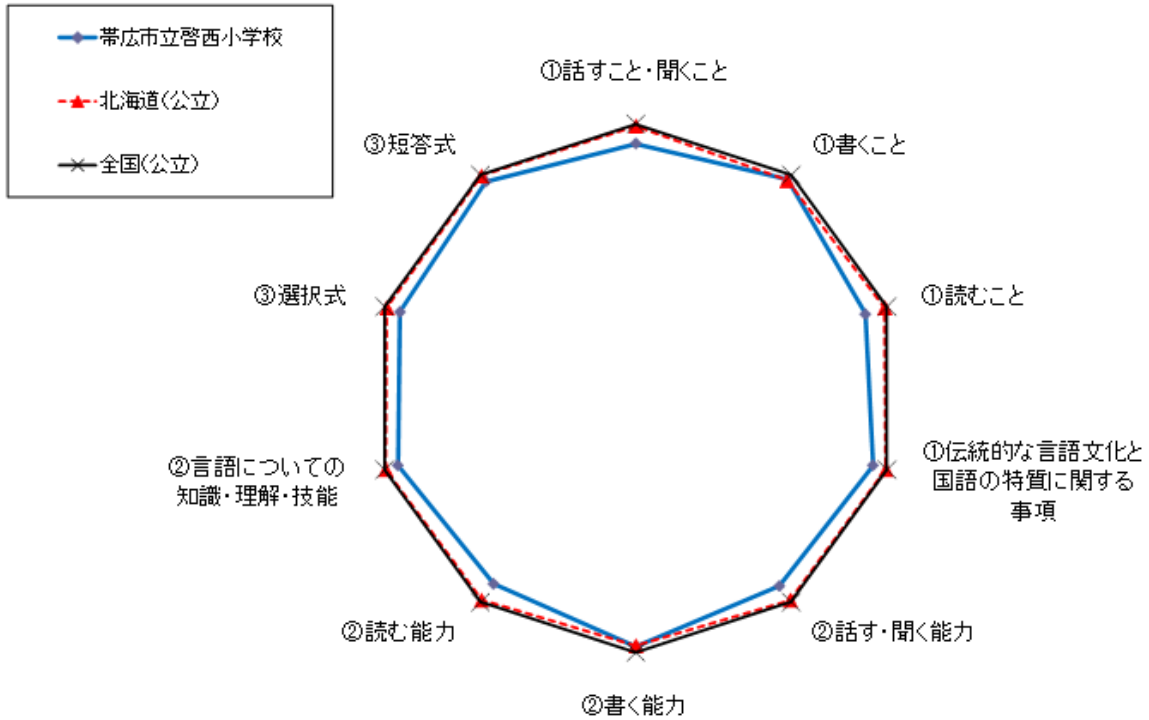
ゲームやテレビの時間が長く、新聞や本を読む時間が少なくなっていることから、生活リズムチェックシートの取組で生活時間を見直すことが大切です。

【5】 インターネット・SNSのルール・マナーの指導

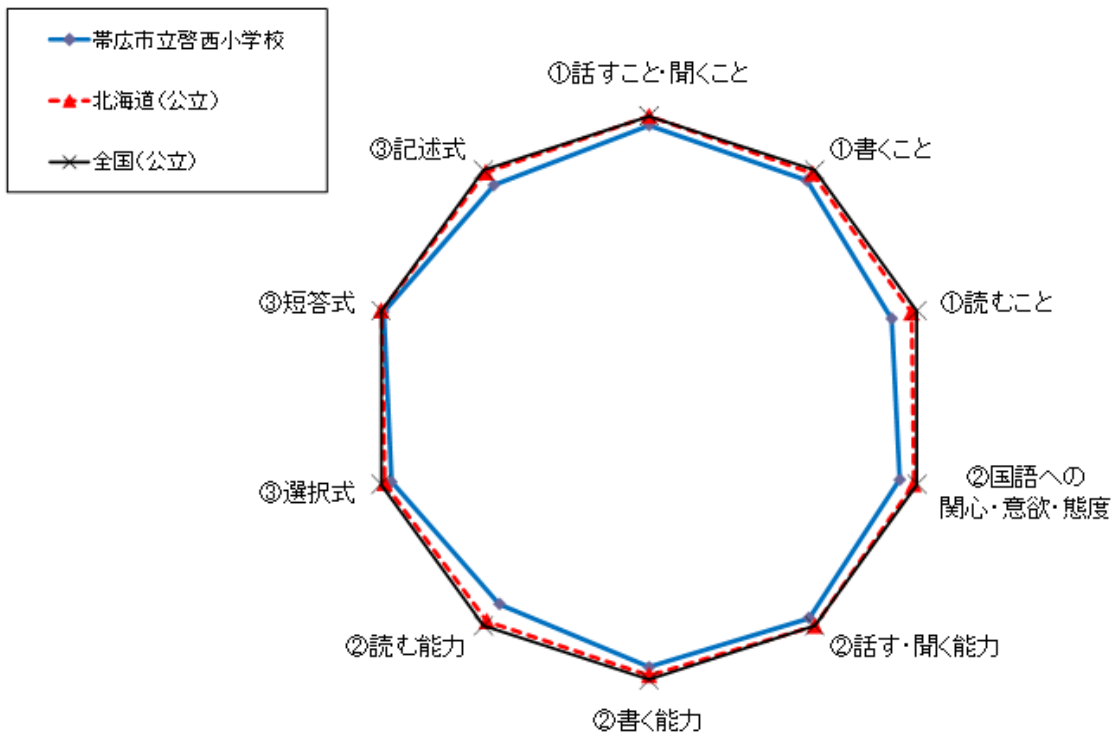
スマートフォンの所持率(使用率)が高くなっています。家庭の中でのルールをしっかりと決めて使用することが大切です。引き続き情報モラルに関する指導を行っています。



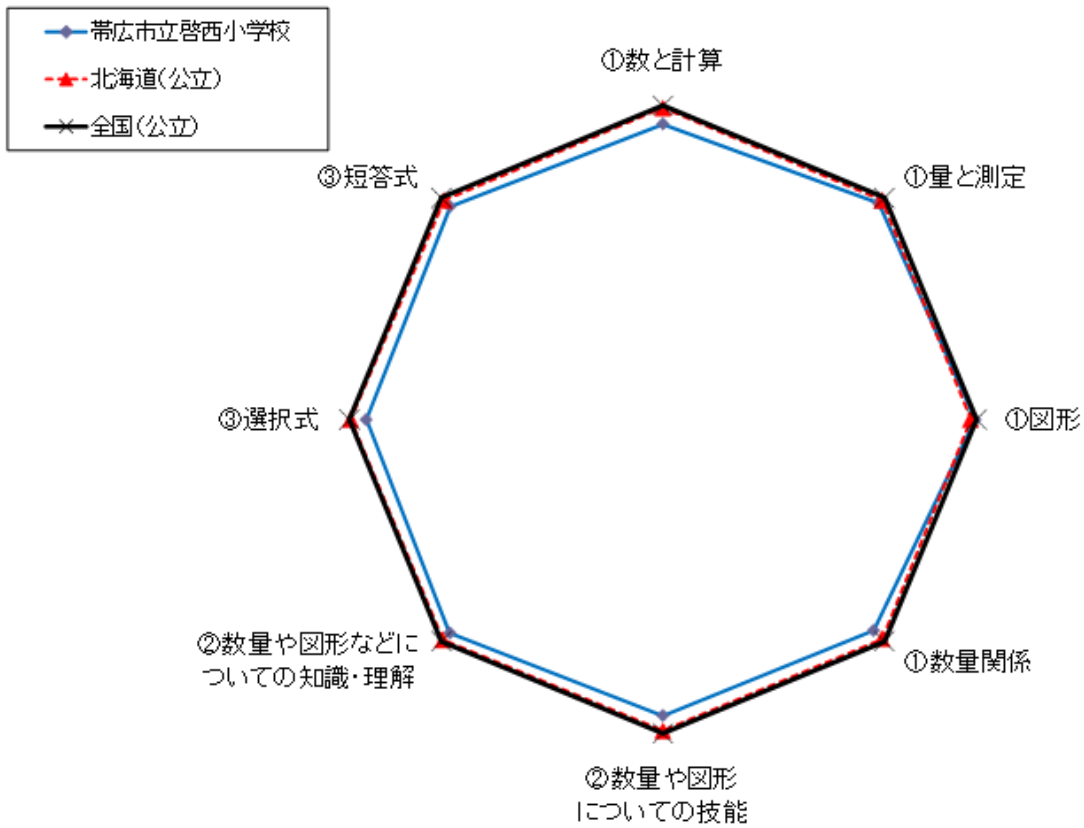
帯広市立啓西小学校の小学校国語A



帯広市立啓西小学校の小学校国語B



帯広市立啓西小学校の小学校算数A



帯広市立啓西小学校の小学校算数B

